

可能性にチャレンジ！ 切り開いたお笑い人生

よしもと所属芸人、唯一の阿南市出身芸人

お笑いコンビ ゆったり感

江崎峰史さん



Profile

えざき たかふみ (33歳・小林町出身・東京都在住)

1980年12月16日生。本名、江崎隆文。2003年4月東京NSC9期生。同年10月に同期の中村英将さんとコンビを結成。お笑いに阿波踊りを取り入れるなど、徳島の知名度アップに貢献。オフはギターをにぎり、オリジナルソングづくりに動む。お笑い芸人・木村祐一さんを師と仰ぐ。

6月29日、市民会館で行われた週末よしもと「よしもとがまたまた阿南にやつてくるよ！」に出演し、ふるさとでの初舞台を踏んだ。

「いつも以上にテンションを上げて臨んだのですが、気持ち空回りしてしまっ……」

相方から「とんでもなく顔が引きつっていて、もう見られませんでしたわ(笑)」と駄目出しされ、思わず苦笑い。そこは芸人らしく、「地元メディアの前で何てこと言うんだよ」と、おもしろおかしくかわして、その場を和ませた。

お笑い芸人に憧れ、上京してから

11年。お笑い芸人養成所「吉本総合芸能学院NSC東京校」で知り合った同期の中村さんとコンビを組み、

東京の「ルミネtheよしもと」を拠点にライブ活動を展開している。持ち

ネタは300超。所属芸人6千人の中にいて、「かぶらない話芸」を持

ち味に、幅広い世代に笑いを提供している。最近では、朝の情報エンター

テインメント番組「ZIP!」に出演するなど、活躍の場を広げている。

根は明るく、とにかく目立つのが大好きな少年だった。例えば授業中、

誰よりも先に手を挙げて、当てられたら「わかりません」なんて答える

お調子者。

「思えば、幼い頃から人目を引くことばかり考えていました」

お笑い芸人になることを意識したのは、高校3年生の時。文化祭の舞台で人を笑顔にする喜びを知る。

「全校生徒によるアンケートで、ミスター富西」に選ばれたんです。歴

代のミスターは格好よくあいさつをキメていましたが、私はあえて「ギャグ」を披露しました。そしたら、体

育館が揺れるほどの笑いが湧き起こったんです。お笑いが自分には向

いているな、と

さつそく親に相談したが、大学進学を勧められた。それからもお笑い

芸人になる夢をあきらめきれず、就職内定を断り、養成所の門をたたいた。



阿南公演で「あいうえお作文」を応用した漫才を披露するゆったり感の2人。

「自分の人生を振り返り、一番後悔したことは何？と未来の自分に問いかけてみたんです。自分の可能性にチャレンジしなかったことだ、とすぐに答えが返ってきました」

漫才への愛着は人一倍。

「1つ1つのライブを全力でこなしていくことが、ステップアップにつながると思っています」

舞台は芸人の基本。ステージに立つと、客の反応がすぐに返ってくる

など、ライブならではの魅力やスリルを味わうことができる。それが笑

わせる力を養う。今回のような苦い経験もまた、漫才のネタとして笑いの種になっていく。

「将来の目標ですか？ 全国を巡る温かみのあるロケ番組をやりたいですね。徳島のイブニング番組

や阿波踊り出演も魅力的。声からないかなあ」